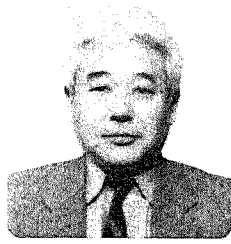


『むろんわたしはあなたを愛する人ですが、

あなたは跳ばなくてはなりません。』



都留文科大文学部教授 金子 博

都留文科大にまいりましてから十三年余り経ちました。大学では近代文学を担当しています。

私は戦争末期の北京生まれですが、子供の頃は東山梨郡牧丘町(昔は諏訪村といいました)の祖父の家で育ち、後に甲府に出てそこで高校を出るまで暮らしました。いわゆる国中育ちです。

山梨県という行政的な単位だけからみますと国中が中心で、郡内はイナカということになるのでしょが、国中に育った者の意識というか、イメージは実際にはちょっと違います。笹子峠や三ッ峠の向こう側の郡内は、都会により近い、国中よりもむしろ洗練された地という感じでもあり、国中の者はいつもそういう半ば憧れの気持ちを抱いて東方の山なみと空を見ていたような気がします。子供の頃遊びに来た河口湖や山中湖にはいわば都会の匂いがあり、小立村にいた従兄のしゃべる言葉をひそかに

真似た記憶もあります。

今はどうなっているか知りませんが、子供の頃、梨ヶ原の開拓村に入植していた叔父の家があり、ある夏、何日間か遊びに来たことあります。周囲は米軍の演習地であり、ジープやトラックが走り回っていました。粗末な叔父の家のであった日本女性が間借りして住んでおり、大きな外人に驚かされた。そのハデな美しい女性にはガムやチョコレートをもらい、うれしくて子供心に憧れました。

そんな記憶もあるせいでしょうか、郡内は私にとってずっと都会の匂いのする所でした。何といてもそこはひと山越えれば東京という土地柄ですから。妙なことから書き始めましたが、それは、都留が、また都留文科大も、そういう首都圏にごく近い土地という条件をどう生かしながら発展していけばいいのかというようなことを考えるからです。富士山周辺のリゾート地への通過点あるいはその衛星圏の町としてではなく、本場に生き生きしたユニークな町として発展するにはどうしたらよいか。

クナ町として発展するにはどうしたらよいか。

その場合さまざまな産業の振興もむろん重要なことでしょうが、大学にいる者としてはやはり大学を中心とした小学園都市としての町づくりを夢みます。美しい山あいや川沿いに会議場やセミナーハウスのような施設があり、そこに絶えず人が集まるようにできないかと、子供たちの野外実習や学生たちの合宿用の施設などをもっと充実させた町づくりはどうだろうか考えます。大学だけではどうしようとしても先が見えているという気がします。とはいえ、都留文科大がコケてしまったら何にもならない。今日まで、大学は非常に幸運にも(と私は思います)いわば全国区の大学として発展してきました。しかし今、大学は果たして生き残れるか、決して大げさではない厳しい事態を迎えようとしていると思います。このことを町ぐるみ、まず認識すべきではないでしょうか。大学では今生き残りのための苦しい模索が続いていますが、今こ

そ本当に知恵を出し合う時ではないでしょうか。時代の流れに即した、例えば情報関係のコースの新設も無視できないかも知れません。しかし、それが果たしてこの都留文科大のおかれているさまざまな条件に合うのかどうか。私の感じでは、今まで培ってきた、文字通り「文科」大学として

のイメージを大切にしながら、教育や福祉といった、人間のソフト面に関する専門大学として、全国区で通用する中身に充実していけば活路はあると思うのですがどうでしょうか。一教員として、真の文化の発信基地都留市という夢を捨てたくないと思っています。

都留文科大

特別講義の公開についてのお知らせ

都留文科大社会学科では、学際的かつ国際的な視野を養うという目的で、特別講義Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを開講し、毎年、各界の権威を講師に迎え、集中講義を行っています。また、これまで社会学科は、「地域に根ざした研究と教育」という理念を掲げ、講演会や映画会等に広く市民の参加を得てきましたが、このたび、同様な試みの一環として、特別講義Ⅲを市民・学生に公開することになりました。

そこに住む市民の生活には、宅地価格の急騰と住宅難、オープン・スペースや緑の喪失、通勤難と交通渋滞、各種公害といった問題が発生しています。日本経済のどのような特殊性・メカニズムからこのような諸問題が生じるのか、世界の諸都市と比較しながら、講義がなされる予定です。

多くの方々の積極的なご参加を願います。

受講料 無料
申込・問合せ

講師 東京経済大学教授・柴田徳衛氏
講義概要

都留文科大社会学科事務室
電話で氏名・住所・電話番号・
年齢をお知らせください。

世界の都市・日本の都市
日本では経済活動がきわめて高度に大都市に展開するという点で世界の他都市と比べるときわだつた特徴をもっています。そのため、

受付期間 12月13日(木)・
14日(金)・17日(月)
午前9時～11時
午後1時～4時